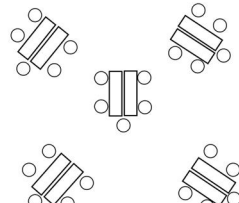


【プログラム6】

テーマ	C-③ 「地域学校協働活動を見直そう」
ねらい	地域学校協働活動のうち、学校と地域の連携・協働活動（授業補助・ふるさと学習・課題解決学習・キャリア教育支援・読み聞かせ・登下校の見守り・学校行事等）の見直しに必要な視点に気づく。

参加対象	全教職員	会場レイアウト <アイランド型> 
参加人数	全教職員数	
ファシリテーター	社会教育主事有資格教職員 ※いない場合は、地域連携教員	
実施時間	90分	
実施時期	11月	
実施場所	会議室	

1グループ：4～5名
・学年別、若手・ベテラン混合のグループを事前に設定する。各グループ、進行と発表者を決めておく。

準備物	<input type="checkbox"/> 模造紙 <input type="checkbox"/> ペン <input type="checkbox"/> 付せん紙（2色）
-----	--

流れ	内容
アイスブレイク 【10分】	○「餃子じゃんけん」（👉P25） ・たくさん「いただきます」ができたグループ→「気が合わないメンバー」（出したじゃんけんがバラバラだった回数が多いともとれるから）、できなかったグループ→「気が合うメンバー」など、ものの見方は一つではないことに気付くようにする。
ワーク1：協議 【10分】 【10分】 【25分】 【25分】	○「“まちあるき”ってこれでいいの？」 ・“まちあるき”のモデルプログラムを使って、活動の見直しをする。 ①実際に“まちあるき”を実施したことを想定して、グループで活動の成果と課題を出し合う。 ②活動のねらいは何かについて、グループで自由に意見交換を行い、ファシリテーターの指名により、2グループが発表する。 ③活動が学校として育てたい資質・能力に向かう内容であったかを見直す。 ④③の内容を踏まえ、グループで活動を見直すときに必要な視点をまとめる。
ふりかえり 【10分】	○「こうすればうまくいく！地域学校協働活動」 ・グループで活動の見直しに必要な視点について考えたことを一人ずつ発表する。

評価	<input type="checkbox"/> 内容、方法、日時の設定、運営の在り方は適切であったか <input type="checkbox"/> 成果・課題
----	---